

# 学術研究推進共同体主催 公開セミナー／FD



講演タイトル

もっと研究が楽しくなる！

## 細胞を薬のように使う時代が来た！

－「汎用性」他家T細胞製剤を用いたがん免疫療法の開発－

NHK 高校講座に出演されている

京都大学 医生物学研究所 所長

再生免疫学分野 教授 **河本 宏 先生**

日 時

遠隔での開催になります



**2023年 3月8日 (水) 10:00～11:30**

演者からのメッセージ

免疫は、体を病原体から守る大事な役割を担っています。免疫で働く細胞を薬として患者に投与することができれば、免疫に関わる様々な病気に使うことができます。すでに「患者由来のT細胞を体外で遺伝子改変して戻す」という方法が一部のがんに対して承認されています。しかし、この方法では時間とコストがかかります。細胞製剤として備蓄しておいて必要な時にすぐに患者に点滴投与できることが理想です。一方で、その場合は他人由来の細胞を投与することになり、拒絶反応が起こる可能性が生じます。この問題を解決するには、移植免疫学という観点からの研究も必要になります。講義では、演者のグループが進めている戦略を紹介しつつ、免疫細胞を用いた細胞医薬の現状と課題について論じたいと思います。

主な著書

- ・ もっとよくわかる！免疫学（羊土社）
- ・ マンガでわかる免疫学（オーム社）
- ・ 別冊医学のあゆみ 臨床医が知っておくべき免疫学のいま（医歯薬出版） など

どなたでも歓迎です。どうぞお気軽にご参加ください。

要事前申込：3月6日（月）までに右のサイト、  
または下記URLからオンラインで申込ください。  
折り返し、zoomへの招待情報をお送りします。

<https://forms.gle/uA7vd8b7XRUmkJ6x8>

